

私の好きなことば
(130)

茨城県退職公務員連盟 会長

東小川 昌夫



「一張一弛（いっちょういっし）」

偕楽園記の中に記されているこの言葉は、水戸藩第九代藩主・徳川斉昭公が重視した「常に張り詰めるのではなく、適度に緩めることが必要である」という、緊張と緩和のバランスを意味する思想です。これを弓や馬にたとえると、弓は弦を張つたり弛めたりするからこそ常に強い弓であり、馬は走らせたり休ませたりするからこそ常に丈夫だということです。

「よく学び、よく遊べ」は、教育の場では言い古された言葉であります。しかし、教師が常に心がけて実践するのはなかなか難しく、子どもに対しても「更に、もっと」と高みを目指してしまいがちです。

教師の働き方が話題になる昨今、「常に、我を忘れて全力で教育にあたること」が中心に据えられ、休息は怠慢であるという風潮が見られはしないか懸念しています。「緩急を付ける・メリハリを持つ」というように、教師の指導方法にとどまらず、教師の働き方の具体的な実践例を示している言葉だと思います。